2017

JAしまねびより 4

April Vol.13

特集 島根のいいもの再発見‼「金城わさび」 いわみ中央地区本部

三隅大平桜（浜田市）

JAしまね 隠岐地区本部版

島根には誇れる農産品がたーっくさん！

島根のいいもの再発見!!

〜直撃・生産者インタビュー〜

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。
毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【金城わさび】

4月はいわみ中央地区本部。金城わさびについて、昭和48年に京都から移住して以来40年以上わさびの栽培を続けている、わさび生産組合の阿妻博之理事長にお話を伺いました。

わさびの栽培方法と特徴を教えてください。

金城わさびの栽培は、涼しくて湿気の多い畑地で育てる「畑わさび」と、渓流式と呼ばれる「水わさび」の２つの栽培法で生産しています。

渓流式とは谷川の水を利用してわさび田をつくる方法で、より自然に近い形で栽培することが可能です。収穫や植替えを水の中で行うので寒い時期は辛いですが、虫がつきにくいのが栽培上の利点と言えます。香り高く上品な風味が特徴で、根茎の部分を擦り下ろして薬味などとして使われます。

畑わさびはスリップスと呼ばれる害虫がつくので多少の消毒が必要ですが、水わさびに比べると手間は少なく比較的楽に栽培できます。こちらは主に加工用で、茎の部分はチューブ入りのわさびに、葉の部分はわさび漬けなどに加工されています。

どのような環境下で作られているのですか？

金城わさびの圃場は中国山脈の県境に近い位置にあり、標高は５００ｍ以上で夏でも冷涼な場所です。もともとこの辺りは稲作が中心で、どこの農家でも夏は水田、冬はわさびづくりと炭焼きをしていました。現在水わさびを栽培している谷川も、田んぼだったところを10年がかりで圃場にしたもので、両側に石垣を作り川底には砂を運び入れ、その上に石を敷きつめるという大変な作業でした。わさびを育てる水は大佐山連峰の伏流水で、流れる水で泥がたまらない

よう、圃場は傾斜をつけてあります。冬は1ｍ以上の積雪がありますが、雪を被ることでわさびに甘みが加わります。

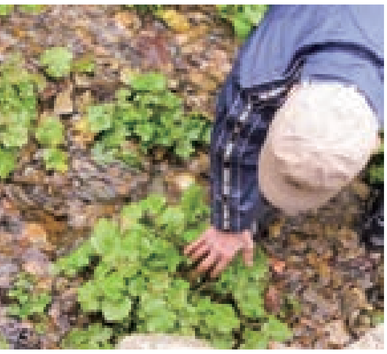
水わさび畑わさび、どちらも2年ほど育てて収穫します。年中収穫できますが、12～3月の寒い季節に採るものが一番おいしいと言われます。2年毎に植え替えますが、水わさびは沢が3本あるので収穫が絶えないよう時期をずらして栽培しています。

水わさびと畑わさびは同じ品種ですか？

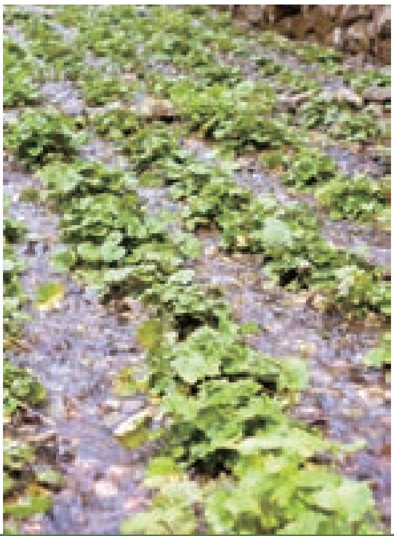
栽培しているのは島根の在来種と、品種改良された島根3号と呼ばれるものです。3号の方が病気に強く、重さも在来の2倍ほどあるため、水わさびは95％、畑わさびは100％の割合で3号を育てています。在来種の方が栽培は難しいですが、粘りと風味があって以前は関西方面などに需要がありました。茎の部分が島根3号は青く、在来種は赤いのが特徴です。

わさび農家の現状と、今後の抱負をお聞かせください。

わさび生産組合の会員は現在14名、平均年齢69・5歳です。私がわさび作りを始めた昭和50年代のわさび農家の数は約30戸。バブル期には水わさびが一つ二千円で取引され、隆盛期の出荷量は年間約4トン、金額にして一千万ほどありました。しかし現在では出荷量は800キロに減り、出荷金額も十分の一になっています。主な原因は1983年の相次ぐ水害による圃場の崩壊です。特に水わさびは水害の影響をまともに受けるので、被害を受けてやめる人がたくさんいました。そして農家の高齢化と後継者不足によって生産量が激減し、現在は葉・花わさびを中心に地元市場への出荷にとどまっています。



しかし平成29年度には新規就農者が3人、市場からは漬物など加工品を求める声もあるので悲観ばかりもしていません。最近ではJAの産直きんさい市場で料理の実演やわさび漬け（醤油漬け・粕漬け・味噌）などの加工品試食販売をしており、評判も上々です。また去年は地元を対象にわさびの産地ツアーを行い、実際に圃場を見てもらうなどの試みをしました。こういった取り組みを続け、少しでもわさびに興味を持ってもらい、消費拡大に繋げていきたいです。いま金城町で水わさびを栽培するのは2戸だけですが、最近は高級わさびとして再び注目を集めているので、この滋味深いわさびをぜひ次世代に残していきたいと願っています。



金城わさび 一口メモ

かつては「東の静岡、西の島根」といわれるほど、国内でも有数のわさび産地として知られていた石見地方。今でも県西部の随所で栽培されているが、いずれも同じような事情で生産量は激減している。栽培方法は同じ渓流式と畑作が主流だが、日原の方では静岡県の伊豆で開発された「畳石式」と呼ばれる栽培法も取り入れられている。島根産のわさびは他の産地のものにくらべ粘りや風味が強いと定評があるが、水わさびは場所や栽培量が限られるため、浜田市（金城町）では思うように増えないのが現状。近年の食の本物志向ブームで水わさびの需要が高まる中、浜田市の特産品として知名度を上げるため、産地ツアーを増やすなど様々な取り組みを計画している。

雲南 見事に開花！小梅の枝の挿し芽接ぎ

雲南市三刀屋町にある雲南市農業振興センター施設長の田中隆行さんが梅の挿し芽接ぎに成功し、綺麗な花を咲かせました。

三刀屋の梅は元々多くの組合員さんによって数10haの栽培がされてきましたが、年々梅の栽培面積と生産量の減少が続いているため、その対策として同センターが挿し芽接ぎを試験的に実施しました。

田中さんは「三刀屋の梅を守るために受粉率を上げる新しい試みの技術で補っていく必要がある」と語りました。

そこで、価格が高い「南高」や「鴬宿」に風媒花として小梅の枝を挿し芽接ぎし、開花させることでミツバチが活動しにくい気温の地域でも受粉率の向上を目指しました。

昨年9月20日に挿し芽接ぎを行い、この度検証が確実になったことから本年より本格的に挿し芽接ぎを行い、安定した生産量の確保、生産者の所得向上に繋げたい考えです。

挿し芽接ぎが成功したことを喜ぶ施設長田中さん

くにびき みんなで安心して暮らせる地域づくりをめざして 第7回地域ケア連携推進フォーラム開催

JAしまねや松江市社会福祉協議会、松江保健生協、生協しまねなどで構成する「あったか地域づくり協議会（高橋玲子代表）」は3月5日、くにびき地区本部の営農総合センターで「第7回地域ケア連携推進フォーラム」を開催しました。

同協議会は、「安心して暮らせる地域づくり」の実現に向け連携して助け合い活動を実践。今回は実践報告と今後の展開をテーマとしました。

当日は、関係団体等から約240人が参加。構成団体代表5人による「我が事・丸ごとの地域づくりを目指した多主体連携のあり方」をテーマにしたトップ討論を実施。同地区本部の田中鈴夫副本部長は「地域密着型のJA事業を通じ集落の維持・若者の定住化等をすすめたい」と語りました。

また、子どもの貧困問題について、NPO法人フードバンク山梨の米山けい子理事長が「見えない子どもの貧困～私たちにできることは～」をテーマに特別講演。「一人ひとりが一歩を踏み出し、島根で拡がっていくことを願う」と語り、食品を企業などから寄贈してもらい、必要としている施設や団体・困窮世帯に無償で提供する活動を紹介しました。また、利用者から届けられたお礼の声も紹介され、地域で支え合う体制づくりの必要性を伝えました。

隠岐 交通安全夜光反射材を寄贈

隠岐地区本部は3月22日、隠岐の島町立西郷中学校へ夜光反射材を寄贈しました。この反射材は、新1年生が交通ラッシュ時や部活動等で夕暮れ時に下校する際、大きな危険と隣り合わせとなる可能性があることから、JAグループの交通安全の取り組みとして毎年寄贈しています。

金阪知保副本部長が「生徒の登下校時の交通事故防止に役立ててください」と趣意書と目録を手渡しました。同中学校の常角敏校長は「毎年寄贈いただきありがとうございます。是非役立たせていただきます」と話しました。

常角校長（左）に趣意書と目録を渡す金阪副本部長

やすぎ いちご祭り2017開催

やすぎ苺部会と安来農林振興協議会は3月4日、5日の両日、「やすぎのいちご祭り2017」を安来市中海町にある道の駅あらエッサで開催し、訪れた多くの人に安来のイチゴをPRしました。

同部会が生産するイチゴは完熟まで待って収穫するため、糖度が高いのが特徴。イベントではそのおいしさを生産者自ら消費者に伝えるため、採れたての『紅ほっぺ』『章姫』『かおり野』の試食販売を行ない、来場者にそれぞれの品種の特性や、おいしいイチゴの見分け方などを説明しました。

他にも、イチゴの果実やペーストを使用した40種類以上の和洋菓子の試食販売や、イチゴがプレゼントされるジャンケン大会などでイベントを盛り上げました。

やすぎ苺部会の遠藤孝部会長は「新規就農者も増えてきたので、今後さらに産地を盛り上げていきたい」と意気込みを話しました。

斐　川

園児たちが花の苗植えに挑戦

3月17日、JA斐川青年連盟と女性部の部員が荘原保育園と出東保育園を訪問し、園児と一緒に花苗植えを行いました。

この活動は、園児が土と植物にふれあうことを目的に毎年行っており、色とりどりのビオラとパンジーなど計160本をプランターに植えました。

当日はとても暖かく、青空の下での作業となりました。最初に、青年連盟の小松原洋一営農部長による苗植えの説明を受け、はじめは戸惑っていた園児たちも次第に慣れて、最後にはみんな手際よく植えていました。苗は保育園に寄贈されたもので、今後の管理は園児たちが行うことになります。

青年連盟の錦織健治委員長が「みんなで水やりをしっかりして、きれいな花が咲くように大事に育ててくださいね」と話すと、園児たちは「ハーイ」と元気な返事をしていました。

園児に指導する様子

隠岐どうぜん

隠岐島家畜市場開催

3月7日～9日にかけて隠岐島家畜市場が開催され、隠岐どうぜん地区本部管内の3市場では、子牛251頭、成牛18頭が上場されました。

昨年11月の市場に比べ入場頭数は少なかったものの、取引価格については、3市場の平均では前回を上回る結果となりました。昨年末の高値相場が続いていることから、新規就農者の参入や、生産者の増頭意欲の高揚など、生産者基盤の拡大につながっています。

H29年３月隠岐島前家畜市場子牛市況　（単位：頭、円、kg）

	入場頭数	取引頭数	１頭当価格			平均体重	１kg当単価	平均日令	前回比	前回
			最高	最低	平均					
知夫市場	78	78	936,360	198,720	656,737	188	3,500	220	−4,300	661,037
海士市場	58	58	853,200	230,040	652,748	203	3,217	217	31,370	621,378
浦郷市場	115	111	872,640	392,040	703,761	207	3,396	220	44,200	659,591
平　均			887,400	273,600	671,082	199	3,371	219	23,757	647,335

浦郷家畜市場

石見銀山

ＪＡ女子大学、菜根館卒業式

JA女子大学石見銀山キャンパス6期生とシニア講座「菜根館」3期生がそれぞれ3月8日、3月10日に「卒業式」を開きました。

受講生はこれまでの講座を振り返り「大田市に住んでいても知らないこと、素敵なことがたくさんあると分かった」「野草を使った料理を作ったり、ヨズクハデを見たりと貴重な体験だった」「毎回の出会いが楽しみで、1年間あっという間だった。また参加したい」など感想を話しました。

卒業式の前には、JAしまね石見銀山女性部農産加工所旬彩工房「きれんげ」から講師を迎え、大田市の伝統料理「箱寿司」と「うどん豆腐」の作り方を学びました。

JA女子大学6期生

菜根館3期生

出　雲

平田柿集出荷貯蔵施設竣工 スーパークーリングシステムを導入

出雲地区本部は3月3日、出雲市上岡田町で平田柿集出荷貯蔵施設の竣工式を行いました。式には関係者ら20人が出席し、施設の完成を祝うとともに、柿産地の一層の発展に向けて気持ちを新たにしました。

この施設は、国の産地パワーアップ事業補助金から二分の一、JAしまね農業振興支援事業「しまね農業生き生きプラン」から二分の一の支援を受け新築したものです。

柿の鮮度を長期間保つことができるスーパークーリングシステムの導入により、西条柿を需要のあるあんぽ柿にする加工期間を延ばすことができます。出雲市多久谷町地内で柿団地が造成されたこととあわせ、あんぽ柿の増産と安定的な生産体制の確立、計画的な出荷による生産者所得の向上を図ります。

JAしまね出雲平田柿部会の奥秀男部会長は祝辞の中で「生柿の長期保存を検討する中で、スーパークーリングシステムに行き着きました。皆様の協力で実現できたことに感謝申し上げます」と話しました。

竣工式が行われた平田柿出荷貯蔵施設

西いわみ　益田市特産ゆずを使用した新商品発表会

西いわみ地区本部は3月16日、益田市役所で益田市産のゆずを使用した新商品「JAしまねゆずゼリー」の発表会を行いました。

発表会には、益田市の山本浩章市長、美都町柚子生産組合の山根哲朗組合長、西いわみ地区本部の田村清己本部長が出席しました。

益田市産の100%ストレートのゆず果汁を使用した一口タイプのゼリーで、搾汁時にソフトな搾り方をしている為、苦みが少なく香りがしっかりしています。酸味が強すぎないので風味が良いところも特徴です。

ゆずゼリーを試食した山本市長は「とてもおいしいですね」と感想を話しました。

4月24日に夏季限定商品として全国に販売されます。

島根おおち　女性部向け農業機械安全運転講習会を開催

島根おおち地区本部農機課は3月14日、邑南町中野地区にある「ふれあい農園」圃場で農業機械の安全運転講習会を島根おおち女性部向けに開催しました。

この講習会は、今年1月に開催した女性部とJA役職員との対話集会の中で、女性部員が農業機械を使うことが多くなり、農業機械の安全運転・整備についての講習を受けたいとの要望があったことから、農繁期を前にケガのない農作業を目指して、トラクター・管理機・草刈機を対象に行ないました。

講習会には女性部員14人が参加。トラクター、管理機、草刈機の3班に別れ、作業を行うのに適した服装から機械の説明、点検の仕方、事故を起こさないための安全な使い方、注意点などの説明を受け、その後実際に農機具を動かし体験しました。

女性部の尾原恵美子副部長は「要望した農機具の講習会が開催されてうれしい。今後、女性が農機を使うことが多くなってくる。今回の講習会を受け、安全な農作業を目指していきたい」と話しました。

本　店　平成28年産島根米求評懇談会・トップセールスを開催

JAしまねは「平成28年産島根米求評懇談会」を3月2日に広島県、3日に大阪府で開催し、両会場併せて島根米の取引先25社にご出席いただき、意見交換を行いました。28年産島根米については品質面·食味ともに好評価の意見が多く、特に「きぬむすめ」「つや姫」については業務用向けでの評価も高く、29年産米以降も作付拡大を通じて安定生産・安定供給を求める要望を多数いただきました。

取引先とJAしまねは、今後も末端販売先を含め取引先と産地の「顔の見える販売」「結びつき米」を前提とした信頼関係・安定取引の拡大に取り組むことを確認しました。

また3月3日、トップセールスとして、島根米重点取引先の津田物産株式会社へ竹下組合長と山根副組合長が表敬訪問し、今後の取引について双方信頼関係を深め一緒に発展的な取り組みをしていくことを確認しました。

いわみ中央　ベビービクスとママの3B体操でコミュニケーション

いわみ中央地区本部は3月8日、浜田市野原町の島根県立体育館で第20回こども倶楽部セミナーを開き、16組の親子が参加しました。

セミナーの対象はゼロ歳児とその母親で、現在84組が会員となっています。今回は、ベビービクスインストラクターの中寺美保子先生の指導の下、ママが赤ちゃんの手や身体、足の指までやさしくマッサージするベビービクスを体験しました。大好きなママにマッサージされた赤ちゃんは、とても気持ちよさそうな顔で嬉しそうにしていました。次にママたちは、3B体操講師の松村美由紀先生の掛け声に合わせて肩甲骨周りの体操や、音楽に合わせての運動を行い、参加者は終始笑顔で楽しい時間を過ごしました。

次回のセミナーは、骨盤を中心とした3B体操とベビービクスを予定しています。

JAしまね 定期積金 スプリングキャンペーン 2017

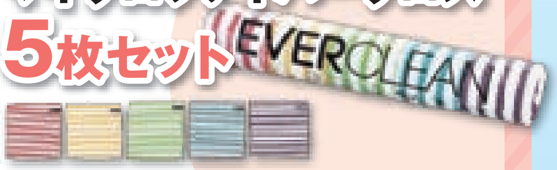
2017年4月3日(月) ▶ 5月31日(水)

期間中、定期積金をご契約で、いずれかプレゼント!

定期積金

おさいふカードポイント **250ポイント**

or



マイクロファイバークロス **5枚セット**

品切れの場合は他の粗品に代えさせていただきます。

JAプレミアム定期積金 やめて貯まるか

おさいふカードポイント **500ポイント**

or

BOXティッシュ **5個パック**

品切れの場合は他の粗品に代えさせていただきます。

- ■商品種類／定期積金(定額式・目標式)
  JAプレミアム定期積金 やめて貯まるか(定額式・目標式)
- ■ご利用できる方／個人の方
- ■ご契約期間／3年以上
- ■ご契約金額／50万円以上
- ■掛込方法／口座振替に限ります。

JAバンクは、どなたでもご利用いただけます。くわしくはお近くのJA窓口までお問合わせください。

JAしまね

JAしまね 検索

営農技術情報

～水稲栽培に向けて～

４月に入り、早いところではゴールデンウィークあたり、遅植えで５月下旬あたりの田植えに向けて準備が進んでいることと思います。

今回は、育苗ハウスの温度管理、水管理についてご注意頂きたい点を御案内致します。

近年春先の温度変化が大きくなっていますが、ハウス内は日中は高温になり、夜間は低温になったりを繰り返しています。日差しが強いときは外気が涼しくても焼け苗が発生する場合があるので温度管理には気をつけて下さい。

硬化期の温度管理の注意点（稲作暦より）

○緑化から徐々に温度を下げ、ハウス内温度は最低10℃、最高20℃で管理して下さい。
（コンパクトハウスの場合換気はサイドを上げるのとドアの開放で行います）
○灌水は、午前10時頃までに行い一度にたっぷりあげて下さい。
（頻繁に水を与えると根が張りません。また夕方の灌水は根張りが悪くなるので控えて下さい）
○植え付け５～６日前にハウスから出して自然の温度に慣らてし下さい。

★隠岐で見られる育苗のトラブルについて

多いのが焼け苗、蒸れ苗の発生、不揃いなどです。焼け苗、蒸れ苗はハウスの換気である程度防げます。不揃いは、ハウスの入り口付近のすきま風、サイドのビニールに苗箱を近づけ過ぎて水滴が落下し発生したりします。

健全な苗作りが健全な米づくりに結びつくので、稲作暦をよく確認し、適切な管理を心がけましょう。

（報告／経済課）

営農情報

水稲研修・交流会の開催

3月18日（土）午後2時30分から隠岐の島町水田営農経営研究会と海士町稲作経営者研究会との交流会を開催しました。

隠岐の島町から生産者9名、海士町から生産者9名、関係機関を含め28名の参加者となり、有機栽培に力を入れていく意向にあるという背景から、島根県農業技術センター技術普及部有機農業普及課 月森 弘氏に「水田雑草の生態と良質米生産に向けた雑草防除」を、全国農業協同組合連合会 中四国営農資材事業所 島根推進課 山崎 泰弘氏に「鉄コーティング種子灌水直播栽培について」「省力低コスト資材の紹介」という内容で講演をしていただき、3時間に及ぶ研修会となりました。

研修会の中では、難防除雑草などに関する質問や意見も多く上げられ、有意義な研修会となりました。

研修会終了後は懇親会も行われ、よりいっそうの親睦を深めることができました。

（報告／経済課）

畜産農家島外視察研修会について

2月23日（木）～24日（金）、島内畜産農家9名を対象に、役場・JA計11名で島外視察研修を行いました。

視察先は、鳥取県畜産試験場、大山町の梅実牧場、島根県畜産試験場、JAやすぎキャトルセンターへ行き、種雄牛の能力やその土地ならではの飼養管理、キャトルセンターの必要性などの研修を受けました。

昨年、隠岐地区本部管内でも鳥取県の種雄牛「百合白清2」の精液を導入しており、今後の和牛改良に期待をしています。

今回の視察研修を踏まえ、畜産農家、行政、JAとで積極的に意見交換を行い、5年・10年先を見据えた隠岐の島町の畜産改良に取り組みたいと思います。

（報告／経済課）

隠岐青年連盟島外視察研修会を実施

3月28日（火）JAしまね隠岐青年連盟の島外視察研修を行いました。今回は若手畜産農家3名を対象に、出雲青年連盟会員の牧場と出雲市の藤増牧場へ行きました。

出雲青年連盟会員の牧場では繁殖牛を13頭飼育していて、牧草地が20ヘクタールあるほか、冬場の粗飼料にWCSを活用するなど、自給粗飼料のみで飼育していることがとても参考になりました。

藤増牧場では肥育牛を約400頭飼育されており、隠岐市場からも素牛を導入していただいています。7月開催の隠岐産枝肉研究会に出品されるということで今後の成績に期待しています。

今回の視察により農場見学は元より、JAしまね青年連盟の交流を深く進めることができ、大変有意義な研修会となりました。

（報告／経済課）

JA NEWS

「JA虹のホールおき 3周年記念祭」の開催について

「JA虹のホールおき」が完成して今年3周年を迎えるにあたり、4月2日（日）に「JA虹のホールおき3周年記念祭」を開催いたしました。当ホールは日頃、地域の皆様方に葬儀などのご利用の際にのみお越しいただいていると思いますが、広く組合員・地域の皆さまに当ホールまたJA事業に親しみを持っていただきたく、今回この記念祭を開催することといたしました。当日の内容は「人形供養祭、フラワーアレンジメント教室、虹の会会員コーナー、おさいふカードコーナー、終活コーナー、墓石相談コーナー、Aコープ商品販売コーナー、フードコーナー」など色々な催し物を企画し、当日は晴天にも恵まれて多くの皆さまにお越しいただくことが出来ました。特に人形供養祭へは沢山の日本人形やぬいぐるみなどをお持ち寄りいただき、丁寧に供養させていただくことが出来ました。今後も隠岐地区本部では組合員・地域の皆さまに事業内容をもっと知っていただき、地域の身近な存在としてご利用していただければと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

（報告／典礼課）

組合員の皆様へ

連休期間中の経済課営業について

5月3日㊌～5月6日㊏の期間の肥料、農薬等の供給については、下記月日の8：30～12：00まで営業致しますのでご利用頂きますようご案内申し上げます。

月　日	5月3日㊌	5月4日㊍	5月5日㊎	5月6日㊏
営業時間	8：30～12：00	8：30～12：00	8：30～12：00	8：30～12：00

※支店、店においては営業していません。経済課（隠岐の島町城北町151番地）のみの営業となります。

ＪＡしまね隠岐地区本部経済課　連絡先２－１１３３

なお、農機センターにつきましても、繁忙期対応として4月29日㈯～6月4日㈰の間は、すべての土曜・日曜日、祝祭日を営業いたします。

お便りコーナー

～読者の皆さんのご意見・ご感想を紹介します。たくさんのお便りお待ちしております～

・営農技術情報で水稲栽培が毎年のことですが役にたちます。今年は育苗器を新品にしました。（上西・Fさん）

・隠岐藻塩米の評判上々で何よりですが、減塩が健康に大切のようです。塩米のネーミングを一考されてはと思います。（上西・Hさん）

・毎号家庭菜園に出る野菜の種子は普通の種子屋さんには有りません。ＪＡには売ってるんでしょうか？（中村・Iさん）

・とても興味深く楽しく拝読させて頂いています。マイカーローンが11月で終わるので、12月から同金額程度の積立貯金を考えています。知らぬ間に大金が出来、いざという時の力になると思いました。チリも積もれば山になるんですね。（大久・Mさん）

・毎月楽しみにしています。そして、励みになります。エンドウ豆を育てているのですが、霜で枯れそうになっています。防寒対策はどんな方法がいいのでしょうか。（上西・Iさん）

・農業用廃プラスッチック・廃農薬の処理方法が今まで知らなかったので、今回知れて良かった。（小路・Sさん）

・「楽しくクッキング」参考にしています。（栄町・Kさん）

・表紙の絵、毎回楽しみです。（栄町・Mさん）

・表紙に「ときめき」を感じるのは3度目です。今にも動き出しそうな「どじょうすくい」の2人の表情に一瞬「ドキッ」とします。こんなすばらしい感動をたまには呼びさまして欲しいです。健康散歩は日頃気にも留めていない事に「ハッ」と目を止めます。続けてください。（大久・Sさん）

【お便り募集中】
本誌、「クロスワードパズル」コーナーの応募要項をご覧ください。
本誌「ＪＡしまねびより」またＪＡに対するご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

職　員　募　集

島根県農業協同組合（ＪＡしまね）では、下記のとおり職員を募集します。

◆募 集 区 分　本店採用・地区本部採用

◆応 募 資 格　①平成30年３月大学院・大学・短大・高専・専修学校卒業見込みの方
②大学院・大学・短大・高専・専修学校を卒業して３年以内の方

◆採用予定者数　60名程度（隠岐地区本部採用予定者数　若干名）

◆職　　　種　正職員

◆応募受付期　平成29年４月10日（月）～５月２日（火）期間内必着

◆応 募 書 類　①島根県農業協同組合職員応募申込書
（ＪＡホームページから取得頂くか、隠岐地区本部に備え置いていますのでご利用ください）
②自筆履歴書（写真貼付）
③卒業見込証明書または卒業証書
④学業成績証明書
⑤受験票添付用写真　１枚（タテ４cm　ヨコ３cm　６ヶ月以内撮影）
※申込に際しての提出書類はお返し致しません。

◆書類提出先　島根県農業協同組合　本店人事教育部　人事課
（〒690-0887　島根県松江市殿町19番地１）
郵送または持参。封筒の表に朱書きで「職員採用選考書類」と記入。

◆選 考 方 法　①第一次試験　筆記試験（基礎能力試験・適正検査・論文）
面接試験
②第二次試験　面接試験

◆採用試験日　①第一次選考　平成29年６月９日（金）
②第二次選考　一次合格者に別途通知

◆採用試験場所　「ラピタウエディングパレス」３階　鳳凰の間
（〒693-8587　島根県出雲市今市町87番地）

◆初　任　給　正職員　168,000円～172,000円（大卒）
156,000円（短大・高専・専修卒）

◆お 知 ら せ　平成30年４月職員の採用は、地区本部採用・本店採用があります。
地区本部採用：勤務を希望する地区本部での配属となります。
本店採用：本店を含む県下全域（転居を伴う配置を含む）の配属となります。

◆問い合わせ先　島根県農業協同組合　隠岐地区本部　管理部　管理課　TEL：08512－2－1131

【個人情報の取扱いについて】
提出いただいた個人情報については、島根県農業協同組合職員採用目的にのみ使用し、漏洩、滅失、毀損の防止等、安全管理のために必要な措置を適切に行います。

ナスは 栄養診断による管理で収量が倍増

板木技術士事務所●板木利隆

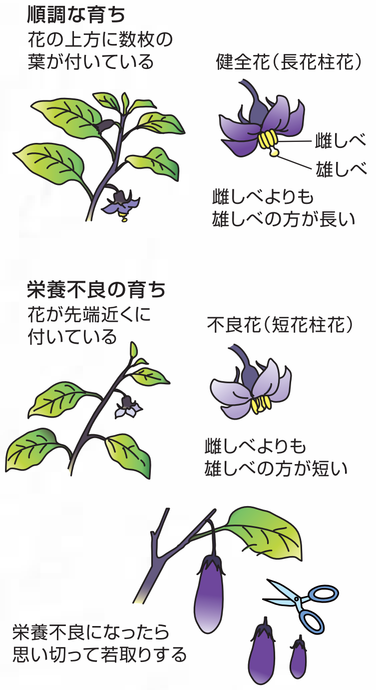
　漬けて良し煮て良し、焼いたり揚げ物、生食にと、ナスは大変使い向きの広い野菜。干しナス、焼きナスにすれば長く保存ができることも分かり、いっそう魅力を高めてきました。

　高温好みなので、強い日差しを受けると紫黒で形の良い果実が連続して収穫でき、大いに食卓をにぎわせますが、次第に株の勢いが弱まり、実止まり悪く、取れなくなり、品質も低下してきます。

　これはいわゆる「なり疲れ」で生育が不調になってきたからです。

　私たちが、お互いに人の顔色やしぐさを見れば健康状態を推測できるように、ナスの健康状態も、葉色や草姿、花などをよく観察すれば容易に栄養状態を診断することができるのです。

　その一番のバロメーターは、図のように花の付く位置と花の形、葉や花の大きさと色具合です。特に花の中を見て、雌しべが雄しべより短い「短花柱花」は、ほとんど落ちてしまい実止まりしません。健全な場合は、花の開いた先に4～5枚の葉が開いていますが、栄養不良株では1～2枚しかない状態になります。畑全面を見渡して花がよく見える状態は、栄養不良といってもよいのです。



　対策としては、まず果実を若取りして株の果実負担を軽くしてやることです。そして追肥で栄養を補給し堅くなった通路付近の、根が伸びる先の方にくわを入れ、軽く耕し通気を図り、乾いていたら灌水（かんすい）や敷きわらをして、吸肥をしやすくしてやることです。

　こうすると数日を経ずして草勢に回復の兆しが表れ、健全な「長花柱花」が多く咲くようになり、茎葉もしっかりして、上方の葉の枚数も増え、よく実止まり、果実の太りも早まり、色つやの良い果実がたくさん取れるようになってきます。

　「なり疲れ」は、ナスの一生の中に3～5回現れることが分かっているので、常に観察を怠らず、早めに発見、対処して軽減するようにしてください。収量の倍増、品質の向上は必ず達成できます。

　もう一つ、生育盛りに入り茎葉が込み過ぎると、日射不足のため果実の色づきが悪くなり、病害虫も発生しやすくなります。その対策として、果実に木漏れ日が当たるぐらいに、余分な葉を摘み取ったり、枝を整理することも大切な手立てとなります。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

クロスワードパズル

出題●ニコリ

タテのカギ

②起立、礼、――
⑤手紙のこと。お――をありがとう
⑦花などで作られたハワイの首飾り
⑧漢字などに付ける振り仮名
⑨食材を切るときに置きます
⑪――に決めず、慎重に考えたい
⑫「おやつは冷蔵庫の中」「洗濯物入れておいて」のようなメモ
⑭とげのある美しい花
⑮雄鹿には枝分かれした物が生えます
⑯バジルやタイム、ミントなど
⑰酔っぱらってあちらへフラフラ、こちらへヨロヨロ

ヨコのカギ

①青く光るイカ。富山湾の名物です
②積もれば山となります
③鮮やかな赤のこと
④徳川家康は――大将軍に任ぜられました
⑥スペアともいいます
⑨長年掛けた保険が――を迎えた
⑩七福神が乗っています
⑪焼きそばやたこ焼きに掛けます
⑬美空ひばりのヒット曲『東京――』
⑭カウンターのある洋風酒場
⑯川を渡るために架けます

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	5	8 (E)		12	■	17
■	6		■	13	15	(C)
2		■	11			
	■	9	(B)		■	
3	7			■	16	
4 (D)			■	14		■
	■	10		(A)		

答え

A	B	C	D	E

応 募 要 項

●応募方法　ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
●賞　　品　正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「ＪＡ商品券」をお贈りします。
●当選者発表　賞品の発送をもってかえさせて頂きます。
●宛先・締切　〒685-0016　隠岐郡隠岐の島町城北町151
ＪＡしまね　隠岐地区本部　「クイズ」係
平成29年5月5日（金）（当日消印有効）

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

◆先月号の答え◆
「クロツカス」

1シ	6ロ(B)	8ザ	ケ	■	16ゴ	19ゴ
2バ	ケ	ツ	■	13オ	ク(A)	バ
イ	■	9コ	10シ	■	17ラ	ン
■	7カ	ク	カ(D)	14ゾ	ク	■
3ソ	ラ	■	11ク	ウ	■	20ア
4ウ	ス(E)	ビ	■	15ス	18ク	イ
5ジ	ミ	■	12ス	イ	ツ(C)	チ

健康散歩（けんこうさんぽ）
JA島根厚生連

適度な飲酒

お酒は、昔から「酒は百薬の長」といわれるように、適切な量を守れば、血行を促進し緊張感を和らげ体に良い働きをもたらすことができます。

厚生労働省では「節度ある適切な飲酒量」を一日平均純アルコール量で20g程度としています。お酒の種類によって含まれるアルコール量は異なるので一概にはいえませんが、だいたいビール中瓶（5％）1本、日本酒（15％）1合、赤ワイン（12％）グラス2杯、焼酎（25％）半合くらいです。

アルコールの摂り過ぎは、肝臓に負担をかけ肝臓病を引き起こすことになり、また長期間の多量飲酒は高血圧になりやすく「脳卒中」のリスクが高まるので要注意です。

これから歓迎会・送迎会・お花見とお酒を飲む機会が増える季節です。飲み方やおつまみについて、次の工夫や注意をして「楽しいお酒」を飲みましょう。

★つまみのポイント

お酒とともについ濃い味付けのおつまみや高カロリーな食事になりがちです。

シーザーサラダ：塩分1・9g→豆腐サラダ：塩分1・3g
鳥のからあげ：塩分2・7g→串の盛り合わせ：塩分2・3g

などに変更するだけで、エネルギー量も塩分量も抑えられます。

また、低カロリー・高タンパク質な枝豆・冷やっこなどの大豆製品もおすすめです。

★すきっ腹で飲酒しない

空腹の状態で飲酒するとアルコールの血中濃度が早く上昇し、悪酔いしやすくなります。まずは、何か食べてから飲酒しましょう。

★入浴前、運動前に飲酒しない

飲酒をしてから入浴や、運動をすると「不整脈」や血圧変動が起きやすくなります。

★休肝日を作る

普段から週に2日は休肝日を作って肝臓を休めるようにしましょう。飲み過ぎた日以降は、食事摂取エネルギーや飲酒量も抑える努力をするといいですね。

理事会情報（3月6日開催）

協議事項

①平成29年2月9～12日の寒波による農業被害状況報告と対策（案）について
②平成28年度ＪＡしまね農業振興支援事業　第５回（２月）申請について
③酪農ヘルパー事業の進め方について
④県央地区畜産総合センターの収支計画の変更と地区本部損益配賦について
⑤簡易ガス事業の保安業務規程の設定について
⑥葬祭関係規程の一部改正について
⑦大口貸出金の承認について
⑧貸出金償却及び利息損害金減免について
⑨組合と理事との取引（契約）の承認について
⑩ＪＡ全国監査機構による期中改善指示事項（期中監査）に対する回答について
⑪島根県常例検査書の回答について
⑫職制規程の一部改正について
⑬西いわみ地区本部関連会社と外部出資先の合併について
⑭島根中酪の会社化に伴う農林中金の出資金の譲受について
⑮第３回通常総代会の実施および功労者表彰について
⑯総代選挙の実施について
⑰ＪＡしまね運営にかかる調査・研究・検討について
⑱係長職の統一運用と新人事制度におけるスタッフ管理職の呼称について
⑲新退職金制度の導入延期について
⑳平成29年度内部監査計画について
㉑その他

報告事項

①農業災害復興対策支援事業の実施（県の発動がない災害の場合）について
②県域担い手サポート事業に係る取り組み状況について
③島根県農業士会連絡協議会との意見交換会について
④春の農作業安全確認運動について
⑤島根米の機能面からの普及拡大対策の実施について
⑥園芸重点５品目の進捗状況について
⑦米穀園芸情勢について
⑧平成29年度各種共進会・共励会の開催について
⑨畜産情勢について
⑩ＪＡ全農自己改革（案）に係る報道について
⑪平成28年度雪害対策資金の対応について
⑫貸出金償却及び利息損害金減免について
⑬組合と理事との取引（契約）の報告について
⑭平成29年１月末月次決算報告について
⑮株式会社島根ワイナリーの新株の発行について
⑯共済事務センター設置にかかる経費について
⑰ＪＡグリーンおおだ店舗システム更新にかかる開発計画について
⑱監査（第３四半期）報告書について
⑲その他

知って納得JA —協同組合の力—

Q「ＪＡの自己改革」って何をするの？

A 組合員の力を結集して、日本の豊かな食と農、地域を次世代へつなげるための取り組みを加速します。

ＪＡは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、地域農業の発展と地域住民のより良い暮らしを実現するため、さまざまな事業や活動を行ってきました。「ＪＡの自己改革」は従来の事業や活動を、農業者や地域住民の夢や願いに沿ってつなぎ合わせた上で組み立て直し、農業のさらなる成長と地域の活性化を盛り上げていくものです。

改革の実現に向け、ＪＡは組合員や地域住民と徹底的に話し合っていきます。議論を通じて互いを高め合い、行動することで、日本の豊かな食と農、地域を次世代へつなぐ取り組みを、より進めていきましょう。

（監修＝広島大学 助教 小林元）

JAグループウェブサイトでは、JAグループの自己改革の取り組みを紹介しています。

ＪＡグループの自己改革の取り組み　検索

耕そう、大地と地域のみらい。

JAしまねで

格安スマホ

家計の大幅節約!!

さらに今なら5/31㈬までに

JAしまねホームページより
OCN契約番号を教えて
いただいた方全員に
おさいふカードポイント

3,000ポイントプレゼント!!

インターネットで、「JAしまね スマホ」を検索してください

お申し込みはJAしまねのホームページから

http://ja-shimane.jp/smartphone/

ご質問お問合せ

・生活事業部 店舗生活課 ☎0853-25-8907
・くにびき地区本部 生活福祉部 生活総合課 ☎0852-55-3040
・やすぎ地区本部 生活燃料課 ☎0854-28-7200
・隠岐地区本部 経済部 ☎08512-2-1133
・隠岐どうぜん地区本部 経済部 ☎08514-7-8005
・出雲地区本部 生活部生活用品課 ☎0853-21-6058
・斐川地区本部 生活部 生活課 ☎0853-73-9622
・石見銀山地区本部 生活典礼課 ☎0854-84-9071
・島根おおち地区本部 生活部 総合生活課 ☎0855-95-3601
・いわみ中央地区本部 営農経済部 経済企画課 ☎0855-22-8823
・西いわみ地区本部 営農経済部 経済課 ☎0856-23-0933
・有限会社 サンコープ雲南 生活課 ☎0854-45-3336

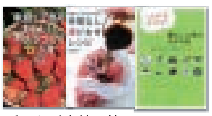
県内各地のJA特産品と交換できる
総合ポイントカード「おさいふカード」交換商品カタログが

新しくなりました!

家の光図書との交換もできます!

家の光図書
園芸や料理、趣味、健康など暮らしに役立つ発見がいっぱいです。

1,000ポイント
●家庭でできるおいしいイチゴづくり12か月
●朝漬けて、夜すぐ食べられる手間なし漬けおきレシピ
●こんなときどうする?暮らし上手のお手本帖　等



1,500ポイント
●季節の保存食
●散歩でよく見る花図鑑
●はじめてでもおいしく作れる和食永久保存レシピ 等

〈掲載書籍は一例です〉

「おさいふカード」のポイントには有効期限がございます。

平成27年中に付与された「おさいふカードポイント」の有効期限が平成29年12月31日となっております。対象となるポイントは、店頭端末、支店等でご確認いただけます。

お早めにご利用ください。

JA店舗などで使える、お買物券と交換いただけます

ラピタなどでのお買い物代金としてご利用いただけます

おさいふカード会員募集中!

●お問合せ先 JAしまね

総合ポイントカード全般のお問い合わせ 0120-031-207

島根産まれの食材レシピ

しまねうれしぴ

料理研究家　土井小百合

春野菜、たけのことツナのちらし寿司

たけのこの美味しい時期ですね。たけのこのジャキジャキした食感とツナのまろやかさが混ざり子供たちも大好きな味のお寿司です。

●材料（4人分）

米……………………………2合
Ⓐ 米酢…………………大さじ2
　 砂糖…………………小さじ2
　 塩…………………小さじ1/3
ゆでたけのこ……………1本
ツナ缶　小…………　1/2缶
Ⓑ だし汁……1/4カップ（50cc）
　 砂糖…………………大さじ1
　 みりん………………大さじ1
　 しょうゆ…………大さじ1/2
Ⓒ 卵……………………………1個
　 砂糖…………………………少々
　 塩……………………………少々
あすっこ………………　1/5束

●作り方

①Ⓐの寿司酢を鍋に入れさっと火にかける
②たけのこは穂先をくし形切り、残りはあらみじん切りにする
③鍋にⒷとたけのこの穂先を入れ2分煮て取り出し、あらみじん切りにしたたけのこを入れ火にかけ沸騰したら油を軽く切ったツナ缶を入れ煮汁がなくなるまで煮詰める
④Ⓒを混ぜ合わせ、いり卵を作る
⑤あすっこはサッとゆでて2㎝に切る
⑥炊き上がったごはんに①の寿司酢を混ぜ、③、④、⑤を混ぜる
⑦桜の塩漬けを好みにより飾る

☆具はこの他、鮭、きゅうり、人参、パプリカ、鶏そぼろ、アスパラ、ブロッコリーなど入れられます

PROFILE プロフィール

企業へのレシピ提案、商品開発、飲食店コンサル、新店舗プロデュース、セミナー企画。

CONCEPT コンセプト

食べたもので体は出来ています。
「食」を楽しみ、「キレイ」をかなえる。そんなレシピを、料理研究家･管理栄養士という専門的な視点からお届けしていきます。また、管理栄養士として正しいダイエット方法や、生活習慣病（メタボリック、糖尿病、高血圧など）乳児栄養、介護食も栄養指導し心と体に美味しいレシピを提案します。
「食育」が楽しいイベントだけにならないように、食や生活を通じて、子どもの世代から高齢まで元気でいられる食習慣を大切にしながら皆様の健康に貢献できる会社でありたいと思っています。神話の国からいろいろなご縁を結びながらお手伝いさせていただきます。

料理研究家
フードプロデューサー
土井　小百合
Sayuri Doi
食結企画 代表
しょくむすび

松江栄養調理専門学校非常勤講師
NHKきょうの健康出演
タニタ食堂コラボレシピ提供
NHK今日の料理2年連続お弁当部門入選

保有資格／管理栄養士・食育実践指導士・特定検診指導・フードコーディネーター
きき酒師・日本酒アドバイザー・野菜ソムリエアワード受賞ソムリエ
介護食士1級・さかな丸ごと食育養成講師

JAバンクをご利用のお客さまへ

ATMなどのサービスを一時休止させていただきます。

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。
このたびJAバンクの全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながらATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

5月　4日（木祝）/20日（土）

現金のお引き出しはお早めに　休止期間中は現金のお引き出しができませんので、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申しあげます。

※JA・店舗・ATM・提携金融機関によっては、ご利用可能日、ご利用可能時間およびご利用可能サービスが異なるため、上記スケジュール以外にもサービスをご利用いただけない場合がございます。詳しくは、JA窓口・ホームページ等でご確認ください。

JAバンク ホームページ　http://www.jabank.org/

表紙紹介

表紙のイラストは野々村　直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は、浜田市三隅町にある「三隅大平桜（みすみおおびらざくら）」です。昭和10年に国の天然記念物に指定されており、樹齢はおよそ660年と伝えられています。樹高17m、東西枝張24m、南北枝張27mという島根県でもトップクラスの巨木で、春には県内外から多くの人が花見に訪れます。

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。
原画の全体は次のとおりです。

編集後記

今月号から新たな企画を2つ始めました。1つ目は「知って納得JA」と題して、改めてJAについて知っていただくための内容としています。2つ目は、松江市在住の料理研究家である土井小百合先生による、地元農産品を使った旬の料理レシピです。引き続き「JAしまねびより」をよろしくお願いいたします。（藤）

JAしまねびより

本誌は地球環境に優しい植物油インキを使用しております。
VEGETABLE OIL INK

JAしまね　公式ホームページ
http://ja-shimane.jp/

2017年4月12日付発行（月1回発行）
編集／JAしまね　ふれあい福祉課・隠岐地区本部
発行／島根県農業協同組合　隠岐地区本部
〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151　TEL.08512-2-1131　FAX.08512-2-4320